

PS短ざく 取扱説明書

※ご使用前に必ずお読みください。

用途

- プレセッターSU・プレセッター梁受金物の接合部を補強し、引張耐力を加算します。

特長

- プレセッターSU・プレセッター梁受金物の引張耐力に3.8kN/枚ずつ加算することが可能です。
- 4枚まで施工が可能で、引張耐力を最大15.2kN加算できます。
- クロムフリー材を採用し、環境に配慮した製品です。

付属品

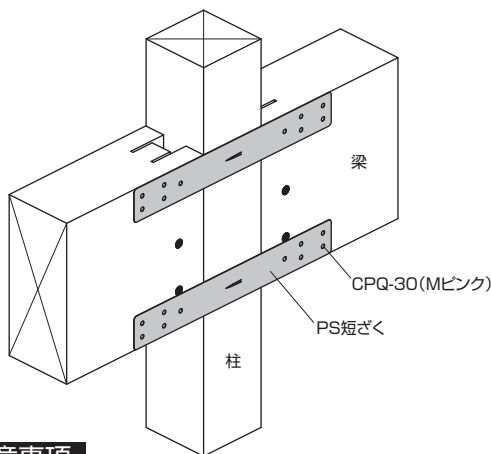
専用ビス CPQ-30(Mピンク)×10本

施工方法

- ① 使用枚数と取付け位置を確認します。
- ② 本体を梁上端または梁下端から10mm以内の高さに合わせます。
- ③ 木材のつなぎ目に刻印線を合わせます。
- ④ 本体を仮留めする場合は、中央の爪を差込み固定します。
- ⑤ 取付け位置が決まったら、付属の専用ビスで本体を取付けます。

取付け例

PS-24SU + PS短ざく2枚付け

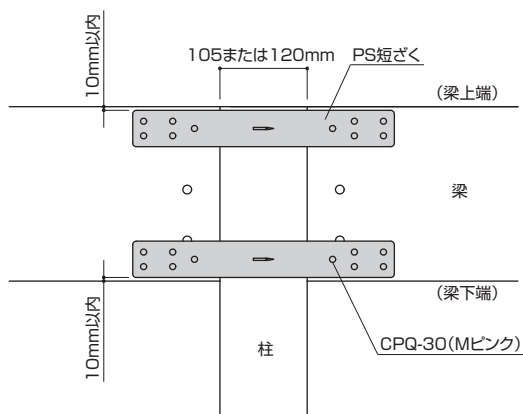


ハウスプラス確認検査(株)評価書

PS短ざく

短期許容引張耐力：3.8 kN

※本製品を「PS-18SU、24SU、33SU」及び「PS-18、24、33」に対し追加施工した場合の耐力数値です。



注意 !!

必要耐力によって使用枚数が異なります。施工前に取付け位置と枚数を必ずご確認ください。

注意事項

- ご使用前に必ずホームページのマニュアルをご確認ください。
- 必要耐力によって使用枚数が異なります。施工前に取付け位置と枚数を必ずご確認ください。
- 柱に梁受金物が直交して取付く場合は、短ざく本体と梁受金物のボルトが干渉するおそれがあるため、納まりにご注意ください。
- 梁成の異なる梁同士を接合する場合は上下端いずれかレベルがそろっている側へのみ取付けが可能です。
- 本製品はビスどめ短ざくLと金物を共用していますが、接合ビスが異なりますのでご注意ください。
- 必ず付属の専用ビスで接合してください。
※ビスの本数を減らしたり、専用ビス以外の接合具を使用して取付けた場合、所要の耐力が得られませんのでご注意ください。
※締めすぎに注意!!ビス頭を金物に接するまでねじ込んだ後、必要以上のトルク(ねじ込み)を加えないでください。
- ビス接合用の四角ビット(#3)は別売品です。
- ケガに注意!!手袋を着用するなど金物の切断面に注意して作業をしてください。
- ビス、リングネイルを打ち込む際にも、軍手や手袋などをはめ、さらに保護メガネを装着し、怪我のないようにしてください。
- 金物は所定の位置に取り付けてください。
- 金物の干渉に注意しご使用ください。
- 接合・締付け工具類は、適切なものをご使用ください。
- 現場で防錆・防蟻処理他、薬剤を使用する場合は、金物に薬剤が付着しないように注意してください。金物本体や表面処理が著しく劣化する場合があります。
- 放り投げたりハンマーで叩く等、乱暴に取扱うと破損や変形する恐れがあります。
- 目的用途以外には使用しないでください。

BXカネシン株式会社

本社 / 〒124-0022 東京都葛飾区奥戸 4-19-12 Tel.03-3696-6781 Fax.03-3696-6770

技術的なご相談は / BXカネシンCSセンター Tel.03-5671-1077